



甲斐ロータリークラブ

第230回

会長:深澤由美子 幹事:清水豊子 会計:中澤謙一郎

例会日 毎週月曜日19:00～20:00 例会場 甲府富士屋ホテル TEL.055-253-8111
事務局 〒400-0856 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所内 TEL 237-5475 FAX 231-1841

第230号
2003年 6月23日

第229回 例会プログラム

四大奉仕委員会総括

深澤年度もいよいよ最後の月となりました。今回は新年度の委員会ごとにテーブルを囲んでいただき、今年度の各委員長から新年度の各委員会への引継ぎ会を開きました。

年を重ねるごとに発展的なクラブ・ライフを送るべく、有意義な議論ができたと思います。

会長あいさつ(第229回 6月16日)

会長の時間を勤めさせて頂くのも、今回を含めてあと3回となりましたのに、今回は県外での会議のため、残念ですがどうしても欠席となってしまいました。これがきっと年度始めの例会でしたら会長の時間を勤めないで済むという安堵感の方が先にたったかもしれませんが、あと3回となりますと残念と思える事が不思議です。

今週のRIニュースは驚きと悲しみに包まれた訃報で始まりました。オーストラリアで国際大会が開催されていたのは皆様既にご存知の事と思いますが、其の壇上に次期RI会長夫人の姿は無く、急逝されたとの事でした。謹んで哀悼の意を表すとともに皆様にお知らせ致します。

記

アデ・マジアベRI会長エレクト夫人のご逝去を悼む(一部分紹介)

数週間前の脳卒中が原因で、ジョナサン・マジアベRI会長エレクトのアデ・マジアベ夫人が、2003年6月6日、イギリスで亡くなられました。

夫人の、思い遣りとユーモア、ロータリーへの献身さは、ロータリー内に広く知られ、愛されておりました。

夫と一緒に出席したRI国際大会や国際協議会や、その他の会合で、アデ・マジアベ夫人は、気さくに振る舞われました。2003年の国際協議会では、配偶者勉強会をリードし、世界の最も差し迫った課題に取り組むという夫のメッセージを強調して、「人道主義に基づく奉仕者として知られる特権を与えられた人々とロータリアンの配偶者として、更に奉仕を行える立場の人間として、私たちは、社会が自分たちに与えて呉れた恩に報いる為に協力しなければなりません。裸の人々に衣服を与えるため、貧しい人達に食べ物を与えるため、病気の人達を癒すため、更に老人を介護し、家族を失った人々を慰めるために、私たちは手を貸さなければならないのです」と語りかけました。

夫人の葬儀は、6月13日(金)午前11時半から、英国ロンドンN16ストーク ニューイングトン、ベチューン通りのセントアンドリュース教会で行われます。

マジアベRI会長エレクトへの弔辞は、RI世界本部の会長室へお送りください。

また、アデ夫人の遺徳を偲び、ロータリー財団では、「女性と子供の教育へのアデ希望基金」(Ade's Hope Fund for the Education of Women and Children)として追悼の寄付金を募ります。問い合わせは、P.O. Box 75133, Chicago, IL 60675-5133へ願います。

次回プログラム

最終例会

出席報告

前回の出席者 24名 出席率 70.59%

前回の欠席者 堀端 耕司, 小山 利行,
中澤謙一郎, 小澤 旭,
深澤由美子, 三澤 清子,
中山 洋盛, 京島 久幸,
原 俊, 今福 勇

第22回(6/2)修正出席率 88.23%

他RC出席及びブメークアップ会員名

6/6 甲府市内8RC新旧会長幹事会

...深澤 清水(豊), 志村, 名取

6/13 山梨第一分区会長幹事会

...深澤 清水(豊)

前回のビジター 米長 勇(竜王RC)

ニコニコBOX

当クラブ

清水 豊子

本日、会長が欠席です。

志村副会長を中心に、どうぞよろしくお願い申し上げます。

高野 真六

先週は例会を欠席して申し訳ございませんでした。

野口 賢司

今年度も残り少なくなりましたが、来週仕事の都合で欠席ですが、宜しくお願いします。

溝口 秀男

だいぶむし暑くなってきました。

みなさま健康に気をつけて下さい。

幹事報告

例会変更のお知らせ

葦崎 R C

日時：6月27日(金) 夜間例会
午後 6:30~

場所：ホテル舟山
親睦会のため

甲府東 R C

日時：6月27日(金) 午後 6:30~
場所：岡島ローヤル会館 8 F

最終夜間例会のため

甲府 R C

日時：6月30日(月) 午後 6:00~

場所：岡島ローヤル会館 8 F

PM 6:00~ 例会

PM 6:30~ 落語鑑賞

PM 7:15~ 懇親会

『春風亭昇太』落語鑑賞会

雑誌解説 『ロータリーの友 6月号』 北條 正 委員

1. 左より36頁 「ロータリー物語 ブラッド・ハワード氏(45歳)」

彼は、父親が1984~85年度第517地区ガバナーで、本人も2002~03年度第517地区ガバナーを務めたロータリーの本道を進んでいるような人物であるが、もともとは、我々とそう違わない親近感のもてるロータリアンだった。

父親の勧めで友人を集めて新しいR Cを作り、チャーターメンバーとして輝かしいスタートであったが、「私の動機は自分本位のものでした。『地域社会に恩返ししたい』、『人類に対して貢献をしたい』、という考えもなく、ただ父からうるさく言われなくなっただけです。」というものだった。

彼の関心は、家族経営の海外旅行ビジネスを拡大することにあり、ロータリーに余分な労力は使いたくなかった。「例会に機械的に出席する人がいることからわかるように、惰性的な人が多かったようです。私は、当時のロータリーをアリジゴクに例えていました。というのも、動かなければやり過ごせ、逆に、いったん動けば、どこまでも沈んでいくからです。そこで、私はできるだけ長く動かずにいたのです。」ということで、彼は、13年間も積極的な活動から遠ざかっていたことを認めている。

その彼が、R Cでの体験を通して人生が変わっていった。彼がどんな体験をして、どのように人生が変わっていったのか、は本文を読んでいただきたい。

この記事を読んで、私は志もなくなげなくR Cに入ってしまった人間だが、そのことを恥じることはないし、ロータリアンとして将来に期待がもてないとも言えない、と思えた。

2. 右より 頁「言いたい聞きたい」

不気味で悪魔が手招きするようなメイクアップ 広島東 R C 高橋昭八郎

投稿者は、サインだけによるメイクアップをやめよう、と呼びかけている。小野田 R C の会長が、サインだけのメイクアップを「不気味で悪魔が手招きするようなメイクアップ」と批判して小野田 R C では一年前からみんなでやめたことを紹介し、全面的に賛同している。

また、本当にロータリーを理解するためには、まず例会などを通じてロータリーを楽しむことだ、と言われるが、例会を楽しむことと例会出席率を形の上だけで整えることとは全く関係がない、と述べている。これは正論だと思う。

しかし、一方「例会へは出席したいが業務多忙で例会出席がままならない者にとって、ロータリーに心をつなぐために意義の深い制度だ。」と自分のR C 内でさえ反論されたとも述べている。これも現実だと思う。

この問題については、各会員おのこの考えがあると思うが、いつまでもこのままにはしておけないのではないか。ロータリー全体でのコンセンサスをはっきりさせるべきだと思う。